

# マニュアル「知ってとくとく 獣害対策名人・成瀬さんの竹檻づくり」 の公開 ～イノシシがよく入る竹製の捕獲檻の作り方を教えます～

長坂 省造（西三河農林水産事務所農業改良普及課岡崎駐在室）

【平成30年12月17日掲載】

## 【要約】

愛知県西三河農業改良普及課岡崎駐在室では、農業総合試験場広域指導室と協力して、成瀬勇夫氏が考案した竹で作るイノシシを捕獲する小型移動式竹檻の作り方を紹介した、マニュアル「知ってとくとく 獣害対策 名人・成瀬さんの竹檻づくり」を作成した。竹檻は、捕獲実績が高い一方で製作に技術の必要なものだが、イラストと写真によりわかりやすいマニュアルとした。地域ぐるみのイノシシ獣害対策のひとつとしての活用が期待される。

## 1 はじめに

愛知県におけるイノシシによる農作物被害の状況は、被害金額8千9百万円（平成29年度）と獣害では最も被害が多くなっている。

主なイノシシの被害防止対策としては、侵入防止柵の設置や箱わな等による捕獲がある。しかし、イノシシは警戒心が強いいため捕獲は難しく、箱わなを設置した当初は捕獲できても、学習能力の高いイノシシの成獣がいると、箱わなに接近しても入りにくくなる。

岡崎市在住の農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー成瀬勇夫氏は、平成9年からイノシシを捕獲する竹製の捕獲檻を作り始め、その後試作を繰り返して小型移動式竹檻を完成させた。この竹檻は捕獲実績が高いが製作に技術が必要なため、愛知県西三河農林水産事務所農業改良普及課岡崎駐在室では、農業総合試験場企画普及部広域指導室と協力して、小型移動式竹檻の作り方をわかりやすく紹介したマニュアルを作成した。

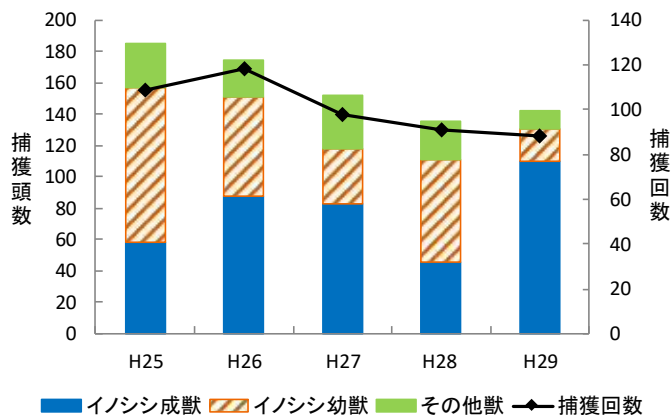


成瀬氏と小型移動式竹檻

## 2 竹檻の特徴と捕獲実績

成瀬氏が考案した、竹で作る小型移動式竹檻では、効率的にイノシシを捕獲できる。竹檻は、天然素材の孟宗竹を使った、費用が掛からず環境にもやさしい手作りのわなである。竹を使うことでイノシシに警戒されにくく、地面に多少凸凹があっても設置でき、持ち運びも可能なので、一般的な鉄製の檻よりも効率よく捕獲できていると考えられる。

竹檻の捕獲実績は第1図に示したとおりである。成瀬氏の竹檻による捕獲数は、毎年イノシシ成獣、幼獣合わせて110頭以



第1図 成瀬氏のイノシシの年度捕獲実績

上である。成瀬氏の竹檻による捕獲数は、毎年イノシシ成獣、幼獣合わせて110頭以

上とすばらしい実績を上げており、警戒心が強いイノシシも捕獲できた。

### 3 「知ってとくとく獣害対策 名人・成瀬さんの竹檻づくり」マニュアル

[https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/204768\\_537022\\_misc.pdf](https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/204768_537022_misc.pdf) から入手できる。

#### (1) マニュアルの構成

マニュアルは以下の項目で構成されており、全 15 ページにおいてわかりやすいイラストと写真により、竹檻の作り方を紹介している（第 2 図）。

##### I 上手に制作するための要点

- ① よい材料（竹）を手に入れる
- ② 手順を厳守する
- ③ 仮組みして作り付けていく

##### II 材料と道具

##### III 制作工程の詳細

- ① 竹を切り出して竹材を調製する
- ② 左右の壁を組み上げる
- ③ 扉枠を組み上げて扉を作り付ける
- ④ 奥側の壁を作り付ける
- ⑤ 天井を作り付ける
- ⑥ 全体の形を整え筋交い（すじかい）を入れる
- ⑦ 仕上げ作業

##### IV 捕獲現場への設置と仕掛け方

#### (2) 工夫した点

竹を始め必要資材、使用する道具についてまとめた一覧表を掲載しているため、準備がしやすい。制作工程では説明とともにポイントが一目でわかるよう枠で囲って表記した。



第 2 図 マニュアル表紙

### 4 参考情報

活用を希望される方は、愛知県農業振興課ホームページの「鳥獣害対策に関する情報」からもダウンロードできる。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/chojugai.html>

このURLには、成瀬氏の「竹檻によるイノシシ捕獲方法」、トリガー部分の「仕掛け図」の詳しいマニュアルも掲載されている。また、作業工程の動画を製作し、竹檻を作成する時のコツとなる部分や針金の縛り方なども配信しているので、参考にしてほしい。

### 5 活用について

本マニュアルを活用して地域住民を巻き込んで竹檻を手作りすることにより、多くの人が野生鳥獣被害に関心を持ち、捕獲活動に参画してもらうことで、地域ぐるみの獣害対策の取組が進むことを期待する。

Copyright (C) 2018, Aichi Prefecture. All Rights Reserved.